



令和7年度 熊倉小学校の教育

＜喜多方市の学校教育＞

【目標】

全ての子どもの「生きる力」を育む

【方針】

幼児教育との連携を図りながら、全ての子ども一人一人の夢、希望、目標等を踏まえ、可能性やよさ、持ち味、特徴を引き出し、生かし、伸ばす教育を行います。

【施策目標】

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体づくり
- 一人一人のニーズに応じた教育
- 学びを支える環境の整備

【教育目標】 『心ゆたかでやりぬく子ども』

めざす児童像

- 思いやりのある子（徳）
- ともに学ぶ子（知）
- たくましい子（体）

【目指す児童の具体像】

「あ・は・も」が身に付いた子

【めざす学校像】

- 子どもも教師も笑顔あふれる学校
- 確かな学力や体力が身に付き、自己肯定感や成就感、達成感を味わえる学校
- 保護者や地域に信頼され、共に子ども達の健康で豊かな心と体を育む開かれた学校
- 地域を愛する心を育み、親も子も共に成長できる学校

【めざす教師像】

- 優しく毅然とした教師
- 自己目標をもち研修に励む教師
- 高い倫理観と使命感をもつ教師
- 常に危機管理意識をもち実践する教師

- ◇ (あ) 気持ちのこもった「あいさつ」ができる児童を育成する。
- ◇ (は) 考えや思いが分かりやすく伝わり、互いに高め合う「発表」ができる児童を育成する。
- ◇ (も) 「目標」をもち、達成に向けて最後まであきらめずに努力する児童を育成する。

- ◎ アクションプランの作成と協働実践
指標：1 挨拶 AB90%以上 2 発表 AB90%以上
3 目標 AB90%以上
(教・保・児：学校生活アンケート4件法回答率)

(◎：重点目標関連事項)

思いやりのある子（徳）	ともに学ぶ子（知）	たくましい子（体）
<p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 安心できる温かな学級の中で、互いに認め合い、励まし合い、高め合える児童を育成する。 ◎ 居場所のある学級経営の充実 (学級力の可視化、Q-Uの分析・活用 等) ○ 積極的な生徒指導の充実 (教育相談、いじめ調査の実施 等) ○ 心に響く道徳教育の充実 (課題となる道徳的価値「善惡の判断」等の重点指導、喜多方市人づくりの指針を生かした指導、なかたく講話 等) ◎ 個性の伸長や豊かな人間性・社会性を育む教育 (「あいさつ運動」の実施、異年齢集団による諸活動の取組、農業科等の地域との関わりを重視した体験活動の充実 等) ○ 郷土愛や愛校心を育む教育 (地域の素材・人材を活用した活動の充実 等) <p>指標：4 学校生活 AB90%以上 5 社会性 AB90%以上 9 道徳性 AB90%以上 (教・児：学校生活アンケート) Q-U学校生活満足群 90%以上</p>	<p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 学び合う中で、思考力・判断力・表現力等を育み、確かな学力が身に付いた児童を育成する。 ○ 基本的な学習訓練・学習習慣の定着 (立腰指導、「第三中学校区小中学校学習ルール10ヶ条」等) ○ 活用力の育成 (各種学力調査の分析・活用、ふくしまの「授業スタンダード」・「活用力育成シート」の活用、チャレンジタイムの活用 等) ○ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実 (グループ学習等の学習活動・「学びの共同体」の推進、タブレット端末の活用 等) ○ 授業と家庭学習の連動・充実 (「第三中学校区家庭学習の手引き」「家庭学習スタンダード」の活用 等) ○ 読書活動の推進 (読み聞かせ、授業との関連、図書室の活用、音読、家庭との連携 等) ○ 一人一人のニーズに応じた教育 (個別指導計画の作成と個別支援、家庭・関係機関との連携 等) <p>指標：14 授業づくり AB90%以上 16 活用力 AB90%以上 17 学び合い AB90%以上 21 読書活動 AB90%以上 (教・児：学校生活アンケート) 総合学力調査 到達スコア前年度以上</p>	<p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 目標をもって心と体を鍛え、健康・安全に留意して生活できる児童を育成する。 ◎ 体力の向上 (「運動身体づくりプログラムの完全実施、新体力テストの結果分析と授業改善、マラソンや縄跳びの励行、各種記録会等への目標をもった取組 等) ◎ 健康教育の充実 (「早寝・早起き・朝ごはん」「情報モラル教育」の推進、保健指導、給食・食育指導、中学校区学校保健委員会の取組 等) ○ 安全教育の充実 (避難訓練・交通安全教室・防犯教室等の実際的な訓練の実施、家庭や地域、関係機関との連携 等) ○ 新たな健康習慣の定着 (熱中症対策や基本的な感染症対策の徹底 等) <p>指標：24 健康生活 AB90%以上 25 生活習慣 AB90%以上 26 メディアコントロール AB80%以上 28 食生活 AB90%以上 (教・保・児：学校生活アンケート) 学校事故・交通事故ゼロ</p>

学びを支える 環境づくり

【重点目標】

- ◇ <教職員の資質向上> 研修の充実を図り、児童主体の授業づくりを推進する。
- ◇ <家庭・地域・関係機関との連携> 「家庭・地域との協働体制」を大切にし、基本的な生活習慣・生活リズムの確立を図る。

＜教職員の資質向上＞

- ◎ 風通しのよい働きやすい職場づくりを通して、教材研究や児童と向き合う時間の確保（働き方改革の推進、学び合い、教え合い 等）
 - ◎ 教職員研修の充実（授業研究・互見授業の推進 等）
 - 組織を生かした対応とチーム力の向上（生徒指導上の諸問題の早期発見・早期対応、スクールサポートスタッフや学校司書の活用 等）
 - 危機管理意識の高揚（防災計画・危機管理マニュアルの共通理解 等）
 - 服務倫理委員会の活性化（事例研究、外部講師の活用 等）
- 指標：30 教職員研修 AB90%以上 (教：学校生活アンケート)

＜教育環境の整備＞

- 備品・教材教具の活用（ICT機器の整備充実 等）
- 施設・設備の維持管理（安全点検、防火診断の実施 等）

＜家庭・地域・関係機関との連携＞

- 家庭との連携（基本的生活習慣や家庭学習の定着、情報モラル啓発 等）
- 関係機関との連携（公民館・地区各種団体等との連携・協力 等）
- 幼小中との連携（スタートカリキュラム、学力向上等の取組 等）
- 地域との連携（学校運営協議会、地域人材・資源の活用 等）

指標：20 家庭学習 AB90%以上 27 メディアコントロール AB80%以上

(教・保・児：学校生活アンケート)

【学校教育法、学習指導要領等】

『人格の完成、社会の形成者としての資質、生きる力の育成』

【第7次福島県総合教育計画】

「個人と社会のWell-beingの実現」